

# 「イクケン香川」子育てでカレッジ

## 発達が気になる子ども支援学科 Lコース



県内各地から39名が参加しました。

日時 ● 2月19日(日) 10:00~12:00

会場 ● 高松テルサ

10:00~10:10 開会あいさつ

10:10~11:25 講演会

日常生活の中で家庭ができることを探る!!

四国学院大学 野崎晃広教授

11:30~12:00 ペアメン Café 模擬体験会

協力:NPO 法人ペアレントメンターかがわ

### 【講演会】日常生活の中で家庭ができることを探る!!

四国学院大学 社会福祉学部

野崎 晃広 教授

#### 子どもの可能性を広げるために、親が種まきをする

子どもはライフステージに合わせて変化するので、限界とあきらめず経験させてみる。できないと思ったら深追いせず、次のことにチャレンジ。一貫性がなく日替わりでよいので、少しでも可能性を探ってみる。子どもの未来を家庭と専門職者で考えることが重要。

#### 問題行動から行動問題へ

気になる行動はコミュニケーションの手段かもしれません。その行動を問題と決めているのは周囲であって、行動の意図は理解されていないのです。



#### 良い行動をほめることで良い行動を増やす

その場にふさわしくない行動、気になる行動は、叱っても無くなりません。子どもの意図をとらえ、子どもの理解度に応じて伝えましょう。良いふるまいをしたときに、「行動」を「ほめる」ことで良いふるまいを増やせます。ほめ方も大事です。表情や声や身振りで、ほめていると伝えるように意識してください。少しでも良い変化があれば、大げさなくらいほめてあげましょう。わが子に伝わるほめ方を研究してみてください。

日常生活にある楽しいことが子どもの未来につながっています。家庭から外に出て、いろいろなことを早いうちから経験させてあげてください。

### ■NPO 法人ペアレントメンターかがわ

**ペアレントメンターかがわ  
主な支援活動**

【支援対象】  
発達障がい・発達凸凹・発達の気になる  
子どもを育てる保護者等

1. 個別相談
2. カフェスタイルの相談会「ペアメンCafe」
3. ペアレントメンターの派遣(研修会、保護者会、サークル等)
4. 障がい、家族支援のあり方などの啓発活動

NPO法人ペアレントメンターかがわ

#### NPO 法人ペアレントメンターかがわの紹介

親自身が、さまざまな子育ての疑問を持つ親に対して、共感しながら話をきいたり、同じ子育て経験を持つ親として情報提供したりする支援活動を行います。発達障がいをはじめ発達の気になる子どもを持つ家庭すべてを対象としたペアレントメンター活動に取り組んでいます。

www.pmentor-kagawa.org (団体紹介リーフレットより)

## ■ペアメン Cafe 体験会

30分間という短い時間でしたが、ペアメン(※1) 1人と参加者5~6人がグループを作り、座談会形式で「ペアメン Cafe(※2)」を体験しました。父親は父親だけでグループを作り、男性のペアメンが付きました。年10回ほど開催するCafeは、お茶やお菓子を楽しみながら、2時間たっても終わらないくらい盛り上がるそうです。



※1 ペアメンとは、ペアレントメンターの略です。

※2 ペアメンCafeは、「ペアレントメンターとCafeしよう」というコンセプトをもとに命名しました。

### 参加者アンケートより（抜粋）

- 子どもの将来のために親としてできる事のヒントをたくさんいただきました。子どもが楽しいと思う事をいっしょに見つけていける親でありたいです。また、ペアメンカフェに参加し、子どもと自分の為の将来を語りたかったです。(30代女性)
- 日常の悩みが話できて、共感する人がいてよかったです。(40代女性)
- 子どものパニック etc、が気になって外に出なかつたので、外に出ようと思います。(30代女性)
- 先生のお話が分かりやすくよかったです。なるべく行動をほめるようにして、よい環境で子育てしていきたいです。(40代女性)
- これからは子どもとの関わり方を変えていこうと思いました。本当に涙が出そうなほど救われた気がします。本当にありがとうございました。(30代女性)
- ペアメンカフェは初めてでしたが、次回も参加したいと思いました。ほめる、伝えることをもっと意識的にできるようにしたいと思います。(40代男性)
- 講演では色々となになる話を聞けました。いきなり全てをやる事は出来ないの、徐々にやろうと思います。(20代男性)
- 親が子どもを理解する。悩みは消えないだろうが子育てをがんばろうと思いました。参加できてよかったです。(20代女性)
- 野崎先生のお話、とても分かりやすかったです。夫婦や家族だけで困りこんでしまうことの危険性。地域をまきこんで、子どもを社会に出して、社会の中で育てる。とてもとても心に響くお話でした。ありのままの子どもを認めて、関わり方を考える。難しく考えがちな話を、笑い話をまじえて、日常生活に取り入れやすいように分かりやすく教えていただきました。(40代女性)
- ペアメンカフェの体験も、先につながる長い道のりを精神的に支えてもらえる場があることを知れて、とてもありがたかったです。ありがとうございました。(40代女性)